

データで見る中小企業の動き 全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

2013年7-9月期実績、10-12月期及び2014年1-3月期見通し

『中小企業の景況は、持ち直している』

日本政策金融公庫 総合研究所は10月25日、「全国中小企業動向調査結果(2013年7-9月期実績、10-12月期以降見通し)」を発表した。



今回調査のポイント

- ① **業況判断DI** 5期ぶりにプラス水準となり、来期以降も**上昇**する見通し。
- ② **売上DI** 4期ぶりにプラス水準となり、来期以降も**上昇**する見通し。
- ③ **価格関連DI** 販売価格DI・仕入価格DIともに**上昇**し、来期も**上昇**する見通し。
- ④ **純益率DI** 2期連続で**上昇**し、来期以降も**上昇**する見通し。
- ⑤ **従業員DI** 前期から**上昇**し、9期連続でプラス水準となった。
- ⑥ **設備投資実施企業割合** 9期連続で**上昇**した。

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA

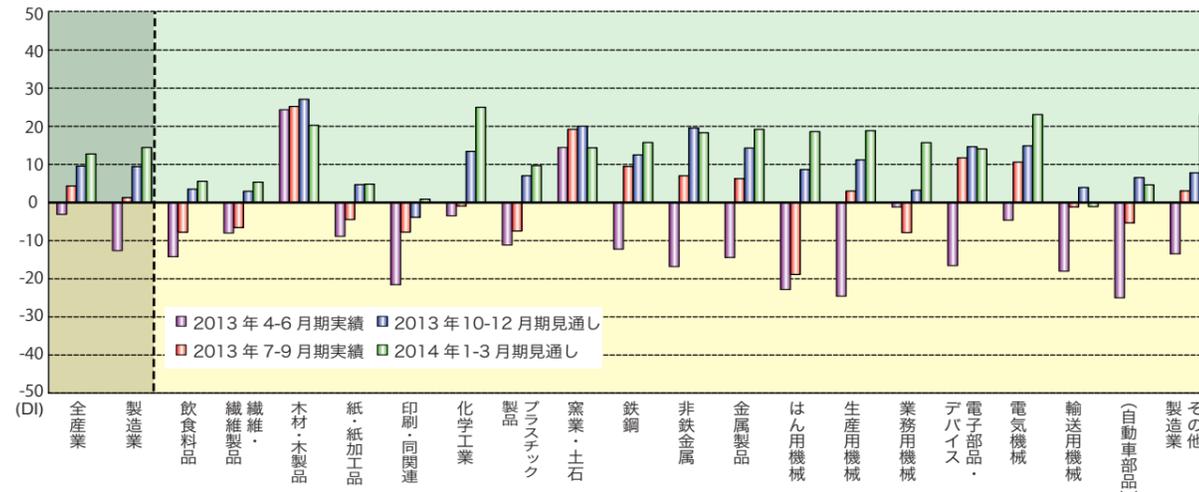
- 調査時点：2013年9月中・下旬
- 調査対象：日本公庫中小企業事業取引先 13,043社
- 有効回答企業数：7,121社 (回答率 54.6%)

①-2 業種別業況判断

製造業：素材・機械関連業種にもDIの改善が広がる
非製造業：多くの業種で上昇

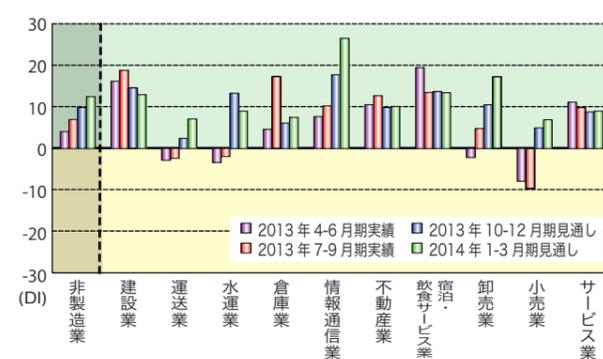
製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合



非製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合



● **製造業**
製造業は、ほぼすべての業種で**上昇**し、建設資材を扱う木材・木製品、窯業・土石が引き続き高い水準にあるほか、素材・機械関連の多くの業種がプラス水準に転じた。来期はすべての業種で**上昇**する見通しとなっている。

● **非製造業**
非製造業は、多くの業種で**プラス水準**となった。来期以降はすべての業種で**プラス水準**となる見通しである。

①-3 地域別業況判断

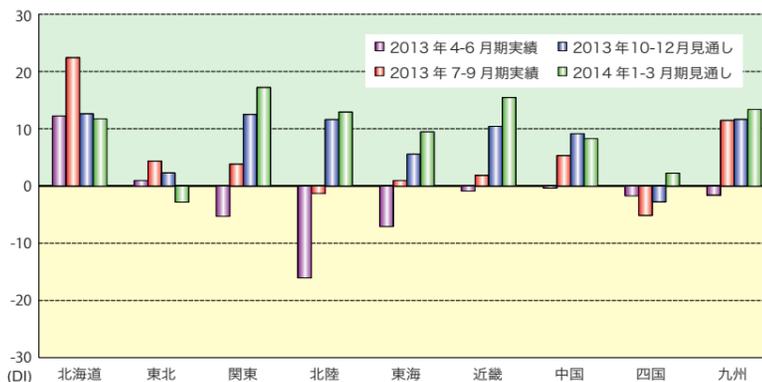
8地域で上昇

業況判断DIを地域別に見ると、今期は北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、九州の8地域で**上昇**し、多くの地域で**プラス水準**となった。

来期は、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の7地域で**上昇**する見通しである。

地域別業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合



①-1 業況判断

5期ぶりのプラス水準

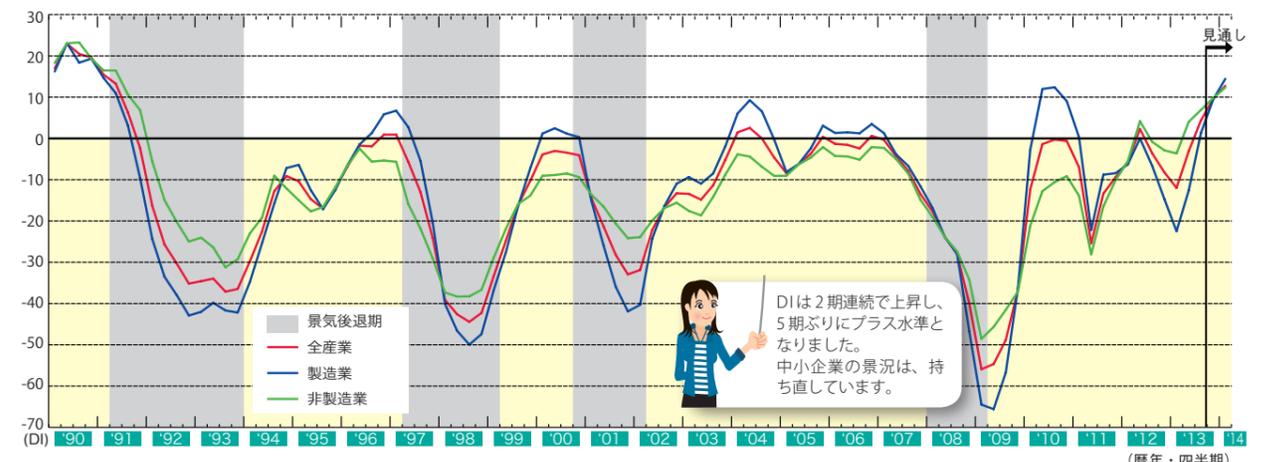
▲3.1 ▷ 4.4



- **現状** 業況判断DI(前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)は2期連続で**上昇**し、4.4と5期ぶりに**プラス水準**となった。
- **見通し** 先行きについても**上昇**し、来期は9.5になる見通し。

業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合



④ 利益

2期連続で上昇

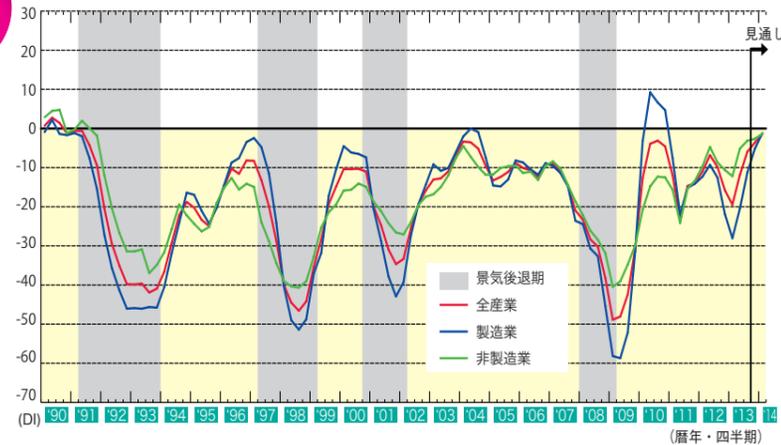
▲11.9 ▷ ▲6.0

純益率DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は▲6.0と、前期から5.9ポイント上昇した。来期も上昇する見通しとなっている。



純益率DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合



⑤ 雇用

9期連続で
プラス水準

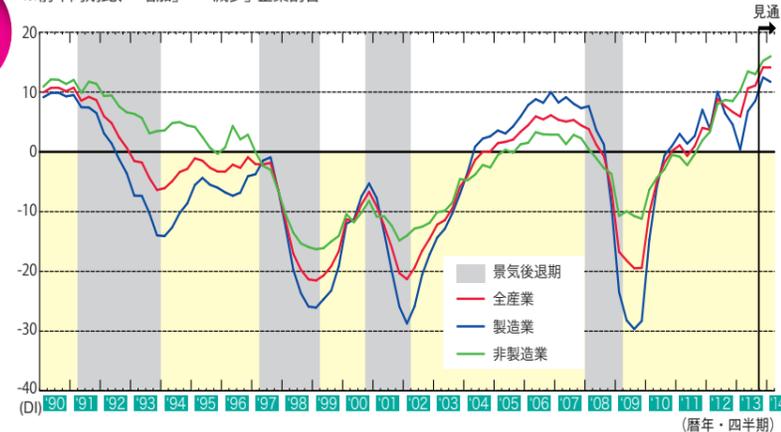
10.6 ▷ 11.1

従業員DI（前年同期比、「増加」-「減少」企業割合）は11.1と、9期連続でプラス水準となった。



従業員DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「増加」-「減少」企業割合



⑥ 設備投資実施企業割合

9期連続で上昇

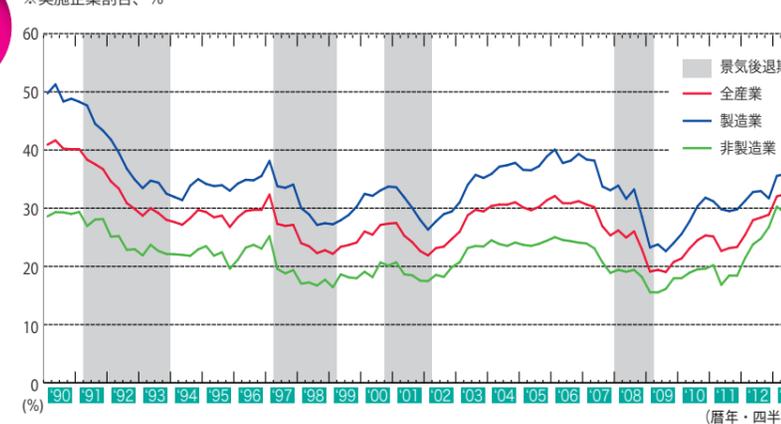
32.4 ▷ 32.8

設備投資実施企業割合は9期連続で上昇し、32.8%となった。



設備投資実施企業割合の推移<季節調整値>

※実施企業割合、%



全国中小企業動向調査（中小企業編）について

当調査は、中小企業の景気動向等を把握するために、日本公庫 中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以來3ヵ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業分野において我が国を代表するビジネスサーベイツとして、関係各位から高い評価を得ています。

② 売上

4期ぶりのプラス水準

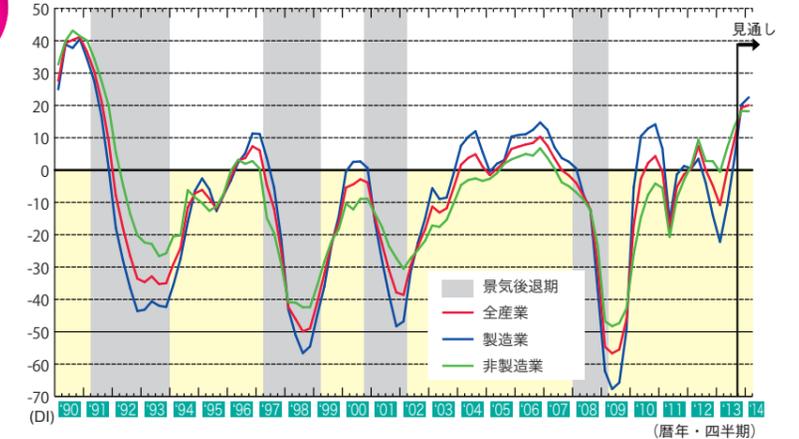
▲0.1 ▷ 9.4

売上DI（前年同期比、「増加」-「減少」企業割合）は2期連続で上昇し、9.4と4期ぶりのプラス水準となった。来期以降も上昇する見通しである。



売上DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「増加」-「減少」企業割合



③-1 販売価格

マイナス幅は縮小

▲5.8 ▷ ▲1.7

販売価格DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は、前期から4.1ポイント上昇し、マイナス幅は縮小している。



③-2 仕入価格

プラス幅が拡大

44.1 ▷ 52.5

仕入価格DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は、前期から8.4ポイント上昇した。



価格関連DIの推移<原数値>

※前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合

